

私たちはお客様に
安心品質をお届けします。

wellco
株式会社 ウイルコホールディングス

第38期 事業報告書
(平成27年11月1日 ~ 平成28年10月31日)

目次

第38回定時株主総会決議ご通知	1
株主の皆様へ	2
事業内容の紹介	3-5
主要な連結経営指標等の推移	6
連結財務諸表	7-8
個別財務諸表	9
会社概要／株式情報	10

石 川 県 白 山 市 福 留 町 370 番 地
株式会社ウイルコホールディングス
代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子

第 38 回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、本日開催の当社第 38 回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第 38 期 (自 平成 27 年 11 月 1 日 至 平成 28 年 10 月 31 日)
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第 38 期 (自 平成 27 年 11 月 1 日 至 平成 28 年 10 月 31 日)
計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第 1 号 議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金については 1 株あたり 3 円とすることに決定いたしました。

第 2 号 議案 株式併合の件

本件は、原案どおり承認可決され、当社普通株式について、10 株を 1 株の割合で併合することに決定いたしました。

第 3 号 議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決され、定款の一部を変更することに決定いたしました。

- ① 株式併合に関する変更
- ② 監査等委員会設置会社への移行に関する変更
- ③ 取締役の責任限定に関する変更
- ④ 剰余金の配当等の決定機関に関する変更
- ⑤ 上記変更に伴う、条数の調整、文言の整理・統一等の所要の変更

定款の新旧対照表はインターネット上の当社ホームページ (<http://www.wellco-corp.com/>) に掲載の 2016 年 10 月期定時株主総会招集通知 26 ページから 31 ページに記載のとおりです。

第 4 号 議案 取締役 (監査等委員である取締役を除く。) 6 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役 (監査等委員である取締役を除く。) に若林裕紀子、大槻健、西村保彦、若林圭太郎、山本実、金井行雄の 6 名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第 5 号 議案 監査等委員である取締役 3 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役に見山英雄、丸山三樹雄、織田健治の 3 名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第 6 号 議案 補欠の監査等委員である取締役 1 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、補欠の監査等委員である取締役に柳谷内健一が選任されました。

第 7 号 議案 取締役 (監査等委員である取締役を除く。) の報酬等の額設定の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役 (監査等委員である取締役を除く。) の報酬等の額を年額 200 百万円以内 (うち社外取締役分は年額 30 百万円以内) と定めることに決定いたしました。

第 8 号 議案 監査等委員である取締役の報酬等の額設定の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役の報酬等の額を年額 30 百万円以内と定めることに決定いたしました。

以上

// 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第38期(平成27年11月1日～平成28年10月31日)が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

1. 当期の業績の概況

当連結会計年度(平成27年11月1日～平成28年10月31日)における我が国経済は、2016年7-9月期のGDP成長率は、実質で年率換算1.3%増と3四半期連続でプラス成長となりました。しかし、7-9月期も4-6月期と同様、実質成長率が名目成長率を上回り需給ギャップの改善は見られませんでした。雇用環境は引き続き堅調に推移しているものの、個人消費は依然伸び悩んでおり、国内景気の回復を実感しにくい状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、広告媒体におけるインターネットの比重がますます増加し、紙媒体による広告の減少傾向が続いております。用紙の国内出荷も、累計で前年割れの状況にあります。用紙価格は高止まりの傾向にあります。また、求人広告件数は増加傾向にありますが、無料情報誌(フリーペーパー)による求人数は伸び悩んでおります。

このような環境の中、情報・印刷事業につきましては、価格競争の比較的低い当社独自製品の販売に注力した結果、独自製品の売上高は増加しましたが、従来型のチラシ等は全体需要の減少並びに価格競争の激化により当初の想定を超えて減少し、セグメント売上高は106億7千8百万円(前期比7.2%減)と減収になりました。また、利益面では製品売上構成比の改善と生産コスト削減により利益率は改善しましたが、新製品関連設備の先行投資による減価償却費の増加等により、セグメント利益は4億4千9百万円(前期比28.5%減)となりました。

メディア事業につきましては、その特徴である地域密着性を深化させるとともに、求人情報誌等の販路拡大と情報誌以外の求人サービス等の拡充に努め、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕に注力してきましたが、平成27年10月1日付で行った郵便物等発送代行事業譲渡による前年同期売上高8億円の減少の影響により、セグメント売上高は25億7百万円(前期比41.0%減)、セグメント利益は2千9百万円(前期比25.5%減)となりました。なお、個性豊かで魅力ある地域社会の実現に向けた活動を深化させることを目的に大阪府との間で平成28年5月23日に包括連携協定を締結し、大阪府と多くの分野において連携・協働を促進し、地域の活性化と情報発信に努めております。

また、平成28年8月26日付「株式会社ウィズコーポレーションの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」にてお知らせのとおり、音のでる絵本、教育玩具、雑誌等の付録・販促用品の企画及び販売等を行っている株式会社ウィズコーポレーション及びその傘下の東京書店株式会社等を8月31日に取得し、新たな知育事業の2か月間の売上高は4億7千6百万円、セグメント利益は3千4百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は129億7百万円(前期比12.9%減)、営業利益は1億9百万円(前期比62.8%減)、(株)ウィズコーポレーション等の取得に伴うデューデリジェンス費用及び為替差損の増加により経常損失は3千5百万円(前連結会計年度の経常利益3億2千1百万円)、固定資産売却益1億3百万円等の特別利益の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は7千6百万円(前期比81.9%減)となりました。

2. 当期の配当について

当社は事業拡大や経営体質の強化を図るために必要な資金を内部留保しつつ、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。当期の配当につきましては、1株あたり3円としております。当社では収益の改善に努め、継続的に利益を確保できる企業体質を目指してまいりますので、株主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3. 対処すべき課題

当社グループは、お客様の信頼にお応えし満足していただけるよう、時代の変化に対応してまいります。そのために、情報・印刷事業においては、少量多品種に対応できる生産体制を整えるとともに、平面の印刷物に加え立体の印刷加工製品も短納期で安価に供給できるよう投資を行ってまいります。また、メディア事業においては、紙メディア、ITメディア、イベント等のプロモーションなど多様な情報発信媒体を提供しお客様のビジネスを支えてまいります。さらに、知育事業においては、音の出る絵本のリーディングカンパニーとして、子供の生きる力の育成に貢献してまいります。今後は、幼児のみならず幅広い年代層に楽しみながら知育に役立つ商品の開発を行ってまいります。

社内管理体制においては、引き続き、関連法令、社会的規範・企業倫理の徹底遵守、グループ全体の事業上のリスクを網羅的・統括的に管理する内部統制により、適法かつ効率的な企業体制を通じ、企業価値の増大と事業の継続的発展を追求してまいります。

中期的な経営戦略・課題といたしましては、次の施策により売上拡大、コスト削減を図ることにより、利益の確保・増大と財務体質の強化を図ってまいります。

- ① 多様な情報発信媒体の提案営業により、新規顧客の獲得・既存得意先のシェア拡大を図り、売上の拡大と利益の向上を図ってまいります。
- ② 当社独自のノウハウと設備を活かしたオリジナリティの高い製品の開発、少量多品種に対応できる製造体制の構築により、事業領域の拡大を含めた売上の増進と利益の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年1月

株式会社 **ウイルコホールディングス**
代表取締役会長兼社長 **若林 裕紀子**

情報・印刷事業

- 販売促進企画
- 商業印刷
- 出版印刷

お客様とともに「最良」を創り上げる追求心

顧客価値の高いオリジナル製品は、お客様のご要望を形にする過程で生まれたものがほとんどです。

「お客様にとって " 最良 " の製品」をモットーに、デザイン制作から印刷、加工まですべての工程において今まで以上の製品を目指し、業務にあたっています。

国内屈指の最新鋭設備

輪転機と加工機を直結することにより最終製品まで仕上げるインライン・フィニッシング・システムをはじめ、小ロット多品種の大量可変印刷に対応する設備の導入など、最新鋭の機械設備によって、印刷に関する様々なニーズに応えます。

ユニークでギミックが効いた製品ラインナップ

開く・めくる・はがす、紙ならではのギミックを効かせた製品ラインナップは、受け取った方が思わず「アクションを起こしたくなる」工夫が満載です。これらのオリジナル製品を通じて、開封率やレスポンス率を高める効果的な販促ソリューションをお客様に提供します。

充実したクリエイティブ体制

消費者を引き付ける販売促進ツールを提供するため、40 名を超えるクリエイティブスタッフが効果的な企画立案からデザイン編集までお客様をサポートします。

また社内撮影スタジオでの専属カメラマンによる撮影、Web クリエイターによるデジタルコンテンツなど幅広いニーズに対応しています。

環境にやさしい製品の推進

剥離紙（台紙）をなくしてゴミを減らす「ライナーレスラベル」や「ごみゼロラベル」、針金を使わない糊付け製本の「グルー製本」など、環境対策型製品の提供・普及に努めています。また、印刷工程においても「水なし印刷」を推進し、環境へ配慮しています。



魔法のペーパークラフト®

従来品とは異なるハサミも糊も不要な新しいペーパークラフトです。無駄なゴミが出ず道具も不要なため、小さなお子様でも手軽に組み立てることができ、裏面や台紙にも印刷が可能です。なので細かい部分にこだわったクオリティの高いアイテムを造ることができます。イベントグッズとしての配布など様々な使い方ができます。



動画もCHECK!



魔法のシール®

開くと中に折り込んだ部分が起き上がり、立体的な紙面を形成します。またブック内のシールは両面印刷ができ、折り加工を施すことにより、シールを立たせることも可能です。シールの台紙部分にも印刷が可能なので、剥がした後何かが隠れているかめくる楽しみを演出することもできます。



動画もCHECK!

メディア事業

■ 無料情報誌の発行

地域密着の無料情報誌

ばどの基本的コンセプト「地域密着」を軸に、地域の人々の声を、また、地域の事業者様の広告を地域の人々に発信する紙媒体としての機能を果たしています。

なお、個性豊かで魅力ある地域社会の実現に向けた活動を深化させることを目的に、大阪府との間で平成 28 年5月 23 日に包括連携協定を締結し、大阪府と多くの分野において連携・協働を促進し、地域の活性化と情報発信に努めております。

人材ソリューション事業

地域に根ざした情報を、紙、IT、そして合同就職イベント等多様なメディアを駆使しながらお届けし、企業と求職者のマッチングを図っています。

IT媒体

紙媒体とIT媒体との相乗効果により来客促進を図るために、スマホを活用した新サービスを展開します。

知育事業

- 音のでる絵本、教育玩具の企画販売
- 雑誌等の付録・販促用景品の企画販売

子どもたちに夢を与える絵本

いまや全国的に認知度の高い「音のでる絵本」。

本物と同じ絶対音で演奏できる「絶対音ピアノ絵本」をはじめ、たいこや木琴、マラカスなどをモチーフとした楽器絵本の数々、ひらがなや英語を学べるといった知育本も人気があります。

音（聴覚）や光（視覚）で楽しめる。そして学べる。私たちは、これからも子どもたちのための企画をつねに提案し、楽しいおどろきや新しい喜びにあふれる絵本を作り上げていきます。

成長につながる楽しいおもちゃ

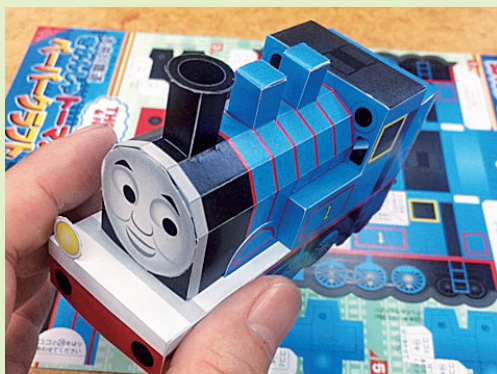
教育玩具は、遊びだけでなく学習効果を期待されています。小さなお子さまでも安全に使える、操作が簡単、親しみやすい、といった数々の条件をクリアさせながら、学びのための製品をお客様とともに作り上げていきます。プログラム開発、メロディー・効果音の製作や音声加工など、楽しさと学習効果、そして最新の基準を満たす安全性を兼ね備えた製品作りをお手伝いします。



トピックス

グッドデザイン賞 受賞

当社グループの「魔法のペーパークラフト」が「グッドデザインアワード 2016」において、グッドデザイン賞を受賞しました。グッドデザイン賞は、1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みで、受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。当社グループの「魔法のペーパークラフト」は、糊付け不要でハサミも使わずに組み立てられる仕組みや裏面や台紙にもフルカラーで印刷できる高い印刷製造品質が評価され、今回の受賞となりました。これからも、今回の受賞を励みとし、より良い製品づくりに邁進してまいります。



— 審査委員の評価 —

よくあるペーパークラフトとどこが違うのかと思ひ手に取ると、各パーツが型抜きされたシールのようにっており、台紙から簡単に剥がせ、糊を付ける手間もなく組み立てることが可能。一部は両面印刷で、組み立てた内部も表現されており、立体感ある仕上がり。大人も楽しめる、そして親子で楽しむ時間を作り出す「魔法のペーパークラフト」である。

グッドデザイン賞

ハサミも糊も要らない「魔法のペーパークラフト」



GOOD DESIGN

第52回石川県発明くふう展一般部門 受賞

この度、当社グループ製品が「第52回石川県発明くふう展」において、4つの賞を受賞しました。



石川県知事賞
ウェルレーベル



新名科学技術振興賞
付箋付きノート



石川県デザインセンター理事長賞
魔法のシール付き
会社案内・名刺

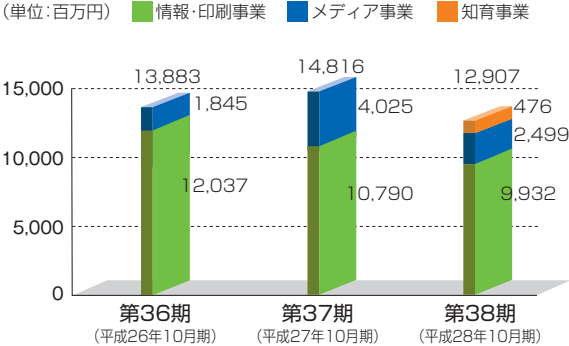


奨励賞
マイデコ写真立て

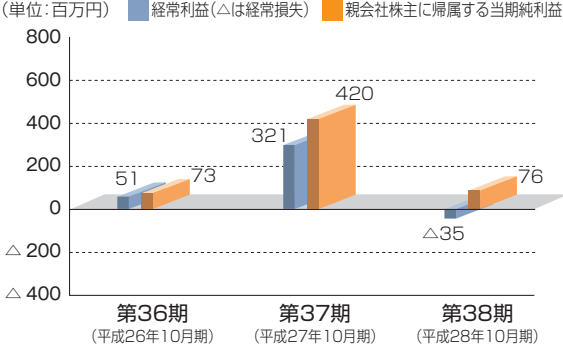


// 主要な連結経営指標等の推移

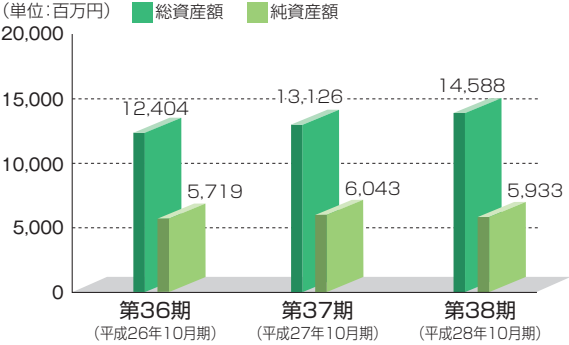
売上高



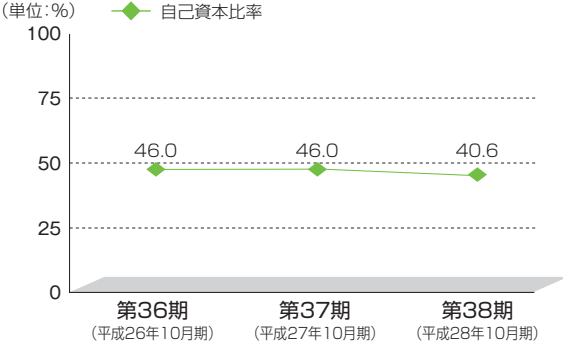
経常利益(△は経常損失)／親会社株主に帰属する当期純利益



総資産額／純資産額



自己資本比率



(ご参考)

(単位:百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度	前年同期比	増減率
情報・印刷事業	9,932	10,790	△ 857	△ 7.9%
メディア事業	2,499	4,025	△ 1,526	△ 37.9%
知育事業	476	—	—	—
売上高	12,907	14,816	△ 1,908	△ 12.9%
情報・印刷事業	449	628	△ 178	△ 28.5%
メディア事業	29	39	△ 10	△ 25.5%
知育事業	34	—	—	—
セグメント利益	513	668	△ 154	△ 23.2%
全社費用	403	373	29	8.0%
営業利益	109	294	△ 184	△ 62.8%

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 平成28年10月31日現在	前連結会計年度末 平成27年10月31日現在
資産の部		
流動資産	7,835	7,433
現金及び預金	3,375	3,544
受取手形及び売掛金	3,479	3,069
商品及び製品	336	86
仕掛品	116	105
原材料及び貯蔵品	218	355
繰延税金資産	7	11
その他	378	286
貸倒引当金	△ 78	△ 26
固定資産	6,753	5,693
有形固定資産	4,707	4,440
建物及び構築物	1,151	1,178
機械装置及び運搬具	660	623
土地	2,180	2,131
リース資産	595	344
建設仮勘定	78	120
その他	40	40
無形固定資産	538	90
借地権	5	5
ソフトウェア	21	32
のれん	508	50
その他	2	2
投資その他の資産	1,507	1,162
投資有価証券	998	949
長期貸付金	86	20
破産更生債権等	50	42
繰延税金資産	7	5
その他	435	213
貸倒引当金	△ 70	△ 69
資産合計	14,588	13,126

科 目	当連結会計年度末 平成28年10月31日現在	前連結会計年度末 平成27年10月31日現在
負債の部		
流動負債	5,134	4,518
支払手形及び買掛金	1,767	1,520
電子記録債務	1,283	1,599
短期借入金	604	100
1年内返済予定の長期借入金	518	334
リース債務	110	69
未払金	484	487
未払法人税等	35	40
賞与引当金	110	104
その他	219	263
固定負債	3,520	2,564
長期借入金	2,222	1,493
リース債務	540	307
退職給付に係る負債	463	429
繰延税金負債	270	308
資産除去債務	19	18
その他	4	6
負債合計	8,655	7,083
純資産の部		
株主資本	6,140	6,137
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,759	1,759
利益剰余金	2,717	2,714
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	△ 210	△ 101
その他有価証券評価差額金	△ 78	3
繰延ヘッジ損益	5	—
為替換算調整勘定	△ 100	△ 75
退職給付に係る調整累計額	△ 37	△ 29
非支配株主持分	3	6
純資産合計	5,933	6,043
負債及び純資産合計	14,588	13,126

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成27年11月1日から 平成28年10月31日まで	平成26年11月1日から 平成27年10月31日まで
売上高	12,907	14,816
売上原価	10,008	11,694
売上総利益	2,899	3,121
販売費及び一般管理費	2,789	2,827
営業利益	109	294
営業外収益	90	91
営業外費用	235	64
経常利益又は経常損失 (△)	△ 35	321
特別利益	141	327
特別損失	8	177
税金等調整前当期純利益	97	471
法人税等	23	54
当期純利益	74	416
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 1	△ 4
親会社株主に帰属する当期純利益	76	420

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成27年11月1日から 平成28年10月31日まで	平成26年11月1日から 平成27年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	405	670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 97	△ 74
財務活動によるキャッシュ・フロー	57	314
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 50	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	314	912
現金及び現金同等物の期首残高	2,502	1,588
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の期末残高	2,817	2,502

連結株主資本等変動計算書 (平成 27 年 11 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
平成27年11月1日残高	1,667	1,759	2,714	△ 4	6,137	3	—	△ 75	△ 29	△ 101	6	6,043
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当	—	—	△ 73	—	△ 73	—	—	—	—	—	—	△ 73
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	76	—	76	—	—	—	—	—	—	76
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△ 82	5	△ 24	△ 7	△ 109	△ 3	△ 112
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	2	—	2	△ 82	5	△ 24	△ 7	△ 109	△ 3	△ 109
平成28年10月31日残高	1,667	1,759	2,717	△ 4	6,140	△ 78	5	△ 100	△ 37	△ 210	3	5,933

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 平成28年10月31日現在	前事業年度末 平成27年10月31日現在
資産の部		
流動資産	1,480	2,587
固定資産	7,873	5,772
有形固定資産	3,211	3,431
無形固定資産	5	8
投資その他の資産	4,655	2,331
資産合計	9,354	8,359
負債の部		
流動負債	975	645
固定負債	2,459	1,837
負債合計	3,435	2,482
純資産の部		
株主資本	5,926	5,818
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,765	1,765
利益剰余金	2,493	2,385
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	△ 8	58
その他有価証券 評価差額金	△ 13	58
繰延ヘッジ損益	5	—
純資産合計	5,918	5,877
負債及び純資産合計	9,354	8,359

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 平成27年11月1日から 平成28年10月31日まで	前事業年度 平成26年11月1日から 平成27年10月31日まで
売上高	675	673
売上原価	103	108
売上総利益	571	564
販売費及び一般管理費	401	373
営業利益	170	190
営業外収益	100	189
営業外費用	145	38
経常利益	125	341
特別利益	123	356
特別損失	57	117
税引前当期純利益	192	580
法人税等	10	△ 96
当期純利益	181	677

株主資本等変動計算書 (平成 27 年 11 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計		その他利益剰余金									
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
平成 27 年 11 月 1 日残高	1,667	1,765	1,765	53	605	1,000	726	2,385	△ 0	5,818	58	—	58	5,877
事業年度中の変動額														
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 73	△ 73	—	△ 73	—	—	—	△ 73
当期純利益	—	—	—	—	—	—	181	181	—	181	—	—	—	181
税率変更に伴う固定資産 圧縮積立金の増加	—	—	—	—	16	—	△ 16	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 71	5	△ 66	△ 66
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	16	—	91	107	—	107	△ 71	5	△ 66	41
平成 28 年 10 月 31 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	817	2,493	△ 0	5,926	△ 13	5	△ 8	5,918

会社概要 / 株式情報

■会社概要（平成 29 年 1 月 26 日現在）

■会社の概況

商 号	株式会社ウイルコホールディングス Wellco Holdings Corporation
設 立	昭和 54 年（1979 年）5 月
代 表 者	代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子
資 本 金	16 億 6,762 万円
本 社 所 在 地	石川県白山市福留町 370 番地
事 業 所	本社 東京事務所
重 要 な 子 会 社	株式会社ウイル・コーポレーション 株式会社関西ぼど 株式会社ウィズコーポレーション

■株式情報（平成 28 年 10 月 31 日現在）

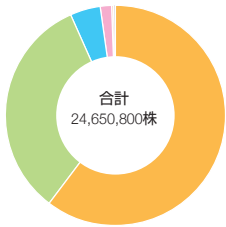
■株式の状況

発行可能株式総数	76,600,000 株
発行済株式総数	24,650,800 株
株主数	1,200 名

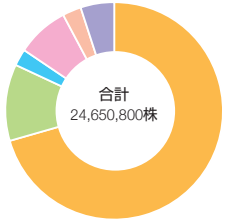
■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社わかさ屋	4,800,000	19.47
若林 和芳	4,786,160	19.41
若林 裕紀子	1,920,000	7.78
鈴木 隆夫	1,170,000	4.74
株式会社桂紙業	1,000,000	4.05
大日精化工業株式会社	960,000	3.89
ウイルコ役員持株会	891,000	3.61
株式会社北國銀行	720,000	2.92
ウイルコ従業員持株会	628,216	2.54
大和輸送株式会社	504,000	2.04

■株式分布状況（所有者別）



■株式分布状況（所有数別）



■ 事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
■ 定時株主総会	1 月中
■ 基準日	10 月 31 日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
■ 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
■ 公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.wellco-corp.com/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。